

# 倉庫内ピッキング実演

## マキテック、米沢に展示場



【名古屋】マキテック（名古屋市熱田区、大野裕幸社長）は、米沢工場（山形県米沢市）内に自動ピッキングロボットの実演展示場を設置した。ピッキング作業の無人化を検討する中小事業者を主な対象に、自律移動ロボット（AMR）を使ったデモを通じて最適な物流倉庫システムを提案する。24時間リアルタイムで対応し、オンラインを活用して海外顧客の掘り起こしも狙う。10月から本格運用を予定する。

## 移動ロボ使い物流改革

米沢工場内に設けた自動ピッキングロボットの実演展示ブース。最適な物流倉庫システムを提案する。

実演用に10×8畳のスペースにラック2台、ベルトコンベヤーなどを配置。協働ロボット、ローラーコンベヤーを搭載したAMRが展示スペース内を移動しながら、指示に合わせてラックの中にある商品の取り出し、受け渡し、指定した場所への搬送などデモを実施。物流倉庫を想定した動作を確認できる。AMR「Robot Vシリーズ」は自社

開発で、自己位置推定機能により移動の目印になる磁気テープが不要。軌道はパソコンで自在に設定できる。プレオープンとして、米シカゴで17日まで開催中の展示会「ハノーバーメッセUSA」の出展ブースと米沢工場をオンラインでつなぎ、モニター展示。10月には自社ホームページを通じて利用申し込みを受け付ける予定だ。

マキテックは生産現場、物流倉庫向けの各種コンベヤーなど搬送機器分野で業界トップクラスのシェアを持つ。搬送工程にロボットを組み込んだシステムを構築し、物流の無人化、省人化の提案に力を入れている。